

とやま



県公連会報

第342号

令和3年12月22日
富山県公民館連合会
富山市舟橋北町7-1
富山県教育文化会館内
TEL・FAX(076)444-5777
E-mail tomic07@iaa.itkeeper.ne.jp



ホタル観察会



しめなわ作り教室



文化祭



水中生物観察会

表紙写真

地域の資源を活動に!!

朝日町立笹川公民館

笹川地区は、朝日町の中心部から東南の方向に位置する山に囲まれた小さな集落です。当館では、昭和61年に始まった「ホタル観察会」や冬場のわら仕事にルーツをもつ「しめなわ作り教室」、地区住民の作品を展示する「文化祭」など、地域の資源・人材を活用した行事に取り組んできたところです。

今年度は新規事業として、地区の河川に住む生き物を親子で観察する「水中生物観察会」を開催しました。コロナ禍の中、大変な時期ではありますが、今後も地区の活性化のために、工夫しながら活動を続けていきたいと考えています。

〈本号の主な内容〉

- 2面 ● 第15回富山県公民館大会
- 3面 ● 富山県公民館大会実践発表
第49回富山県社会教育大会
- 4面 ● 公民館主事・指導員等現地研修会
第56回東海北陸公民館大会福井大会
- 5面 ● 公民館館長研修会
- 6面 ● わが町の公民館活動
・氷見市阿尾公民館
・富山市立藤ノ木公民館
- 7面 ● わが町の公民館活動
・上市町立白萩東部公民館
・砺波市立般若公民館
- 8面 ● 新館紹介
・射水市本江コミュニティセンター

第15回富山県公民館大会 開催

11月26日(金)、第15回富山県公民館大会は、新型コロナウイルス感染予防対策のため参加者数を例年の70%に絞り、228名が参加して富山県教育文化会館ホールで開催された。

開会にあたり中西会長から、コロナ禍での公民館活動に関することとして、「10月に全国公民館連合会から新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの第4回目の改訂版を公表した。公民館は集うのが第一であるのに、集うことを制限するガイドラインであるが、その内容を基本に地域の実態に合わせて活動を進めてほしい。また、ウィズコロナでオンラインやオンデマンド等の様々な工夫がされているが、そのための環境を整備しながら、ポストコロナの公民館活動で参加者のメリットになるものは活かしてほしい。」との挨拶があった。



挨拶する中西会長

全国及び東海北陸公民館連合会、県公民館連合会の表彰式に続いて、来賓の新田知事代理の坪池宏県教育次長から「近年、社会環境が大きく変化し、各地域においても、様々なニーズや課題などが生じています。これらにきめ細かく対応し、地域の持続的発展に繋げていくためには、培ってきた地域との関係を生かしながら、住民の皆様と共に地域や人づくりに取り組んでいただくことが重要と考えています。このため県では、生涯を通した多様な学習活動を支援するとともに、子供をはじめとした県民の皆さんにふるさとへの誇りと愛着を育てていただけるよう、学校や家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興に取り組んでいます。



挨拶する坪池教育次長

また、現在策定を進めている成長戦略では、真の幸せ「ウェルビーイング」の向上を柱としており、県民の皆様一人一人が、真の幸せを感じ、富

山県での暮らしに胸を張れる未来を、県民の皆様と共につくっていきたいと考えています。」との祝辞があった。

【講演】

1. 演題

「富山県の生涯学習と文化財のお話」

2. 講師

富山県民生涯学習カレッジ

学長 菊池 政則 氏

3. 講演内容(要旨)

(1)富山県民生涯学習カレッジの概要

生涯学習推進の中核的機関として、本部の総括のもと、4地区センターが各地で学習講座の運営など、先導的な生涯学習事業を展開

(2)学習機会の提供

①夏季講座

教育文化会館ホールに各分野の著名な講師を招いて行う講演会形式の講座

②自遊塾

ボランティア講師が発案した企画を、受講生と協力し合って、自主的に運営する学びと交流の場

(3)学習情報の提供

【とやま(公民館)学遊ネット】

- ・生涯学習情報提供サービスシステム
- ・令和4年3月に新学遊ネットの構築

①デザインをリニューアル

②オンライン講座、オンライン受付対応等

(4)文化財とは何か

①定義

②文化財の種類と保護の体系

③立山砂防の防災システムを世界遺産に



講演する菊池氏

※富山県公民館連合会のホームページで、講演の動画を配信していますのでご覧ください。

表彰に輝いた方々

【全国公民館連合会】

・優良職員表彰

野村 由夫

・永年勤続表彰

下井 春美 久保美由紀

佐野千栄子

多田 時枝

土田 恵子

黒田 美冬

【東海北陸公民館連合会】

・優良職員表彰

<令和2年度> 永田 晋治

北村外志子

<令和3年度>

岡田 千春

水井 勤

【富山県公民館連合会】

・優良自治公民館

高岡市野村東町自治公民館

高岡市西広谷自治公民館

滑川市辰野公民館

・永年勤続表彰(20年以上)

水井 勤 上田 順子

干場 広光

左近 悦恵

嘉藤 峰子

久世よし子

・永年勤続表彰(10年以上)

石黒 雅美

金田 雅美

大屋 峰子

江東芙佐子

野村 孝一

二俣三千代

砂田 友可

中井由美子

宿谷 英徳

黒崎 礼子

古野 節子

飛世 一美

大沢 絵美

清水 孝則

大橋 央

能登 一養

野畑 高子

島崎 清美

中谷みゆき

上坂 洋子

吉田美穂子

村松 慶孝

外川 雅江

松本 澄子

令和2年度公民館活動研究委嘱公民館の実践発表

●コロナ禍での新しい活動様式について

富山市立山室公民館 前主事 布施 智課 氏

1. 主題について

コロナ禍の中、チームやまむろの地域力を活かすチャンスと捉え、「すべては皆さんの笑顔のために」を基本テーマに3つの視点で企画を考えた



発表する布施前主事

2. 実践事例

①安心安全な活動

- ～会場・人数・講座のスタイルを工夫～
- ・講座プラス講座 ・会議プラス講座
- ・自治公民館で講座・お外で寄せ植え 等

②心に優しい活動

- ～コロナ禍での不安を和らげたい～
- ・念珠ブレスレット作り・苔リュウム作り 等

③同じ目標で活動

- ～つながっているんだという安心感～
- ・エールプロジェクト

コロナ禍で頑張る皆さんへのエールメッセージを個人やサークル、団体等に募集した。感謝と応援の言葉が書かれたリーフ型のカードが800枚集まり、エールの木に飾り、公民館に掲示した。また、公民館に咲くラベンダーで香り袋を400個以上作り、エールメッセージを付けてコロナ禍で私たちを守ってくださる方々にお配りした。

3. 成果と課題

コロナ禍での様々な課題も、発想を変えて工夫するとどれも楽しい講座になった。地域の皆さんとの協力と応援、そして強い繋がりがあったからこそチャレンジできた。今回学んだことをこの先の活動に活かしていけるように、地域の皆さんと手を携えて新しい活動様式を育んでいきたい。

●ふれあい・結びあい 公民館活動

南砺市高瀬地域づくり協議会 生涯学習リーダー 玉井 順一 氏

1. 主題について

地域の絆を強めるために、他世代にわたる住民が参加し、楽しむことができる公民館活動の在り方を探る。



発表する玉井生涯学習リーダー

2. 実践事例

地区史跡めぐりウォーキングでは、近年できた団地の方々や3世代家族での参加も得て、幅広く地域内再発見や交流ができた。マレットゴルフ大会では、各町内2チームが参加し、高瀬遺跡内のコースで秋を満喫することができた。3世代交流クリスマスの集いでは、子供たちは簡易凧作りと凧あげを楽しんだ後、老人クラブのお世話により餅つき体験をしてからプレゼントを頂いた。会食はできなかったが、集いを通じ感謝や敬愛の心を育めた。教養講座では、毎回地区住民を講師とし、様々な職域、嗜好の専門性に触れることで、地域の人材や再発見につながるよう教養を高めている。身近な方々が講師を務めることもあり、大勢の参加を得た。

3. 成果と課題

各事業の開催日を延期したり、飲食の場を無くしたりして、密を避ける工夫をしながらいくつかの事業を開催できたのはよかった。今後も、イベントを企画するに当たり、自分たちも参加者も楽しめるものにしていき、参加者募集もチラシ、ポスターだけでなく、様々な機会にPRすることが重要である。

※富山県公民館連合会のホームページで、実践発表の動画を配信していますのでご覧ください。

「人と人との絆が深まり 豊かに生きる地域社会をめざして」 第49回富山県社会教育大会開催

第49回富山県社会教育大会は、7月3日(土)県社会教育振興協議会に加盟する10団体から229名が参加して、婦中ふれあい館で開催された。公民館連合会からは51名の参加があった。

開会にあたり、中西会長が挨拶し、蔵堀副知事、五十嵐県議会議長から祝辞があった。

表彰式では、各社会教育団体の活動に長年にわたり貢献されてきた方々に、蔵堀副知事から感謝状が贈られた。本会からは、大沼宗義前副会長と森秀樹前副会長が表彰を受けた。

講演では、映画監督の本木克英氏が「米騒動映画化の軌跡」と題して講演した。



講演する本木氏

実践発表では、あすの富山県を創る協議会から猪谷関所館の館長舟杉克巳氏が「飛騨と越中をつなぐ」と題して、ガールスカウト富山県連盟連盟長の山本柳子氏が「ピースビルディング(平和構築)」と題してそれぞれ実践発表を行った。

最後に、富山県高等学校PTA連合会副会長の小林大助氏が大会宣言を提案し採択された。



実践発表をする舟杉氏



実践発表をする山本氏

令和3年度公民館主事・指導員等現地研修会

魚津市で開催 講話、施設見学、現地見学を通して研修を深めました

10月6日(水)、現地研修会は、新型コロナウイルス感染予防のため参加者数を例年の50%に絞り、県西部から54名が参加して開催された。

開催にあたっては、新川地区の公民館主事・指導員評議員会の皆様のご協力のもと行われた。

各地区を出発したバス4台は、午前9時50分頃に、最初の研修施設である魚津市片貝コミュニティセンターにそれぞれ到着した。開会式に引き続き、研修Ⅰでは、森川主事さんに「片貝公民館の



全体研修会の様子

活動概要について」お話を聞かせていただいた。

その後、旧片貝小学校の校舎を活用し教室で食事や宿泊もできる施設を、平野館長さんと森川主事さんの解説のもと見



施設見学の様子

学させていただいた。

研修Ⅱの現地研修会では、バスごとに観光協会のガイドさんさんから詳しく解説をしていただきながら、以下の2カ所を見学した。

①東山円筒分水槽

- ・3つの農業用水に公平に水を分配
- ・令和2年4月国の登録有形文化財に登録

②米騒動発祥の地

- ・大正7年7月23日十二銀行米倉前で発祥
- ・米倉屋根や外側、入り口周辺が珍しい構造

最後に、魚津埋没林博物館を見学した。特別天然記念物である埋没林を見学したり、蟹気楼のしくみを体感したりすることができた。



東山円筒分水槽の見学



米騒動発祥の地での研修

第43回全国公民館研究集会福井大会 福井市で開催
第56回東海北陸公民館大会福井大会

大会主題 「持続可能な社会を支える公民館」
～“人・つながり・地域”づくりに貢献する拠点を目指して～

本年度の全国公民館研究集会・東海北陸公民館大会福井大会が、11月11日(木)・12日(金)の両日、福井県福井市のフェニックスプラザ及び福井県教育センター、福井県国際交流会館を会場に開催された。新型コロナウイルス感染予防のため、福井県以外は各県5名までの参加とされたので、本県からは県公連中西会長、本田事務局長、分科会司会者の魚津市上野方公民館馬場館長、発表者の魚津市大町公民館大野館長が参加した。

開会行事では、主催者を代表して江岸 徹東海北陸公民館連合会会長(福井県公民館連合会会長)が、「SDGsの理念を踏まえ、『誰一人として取り残さない社会の実現』が謳われ、新しい生涯学習・社会教育の広がり」と充実が求められています。“人・つながり・地域”づくりの拠点を目指して、公民館職員は地域の人たちの願いや思いを実現できる活動を通して、公民館が愛され、地域にとってかけがえのない、無くてはならない存在であり続けられるよう日々研鑽に努めていこうではありませんか。」と挨拶した。

施策説明では、文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長補佐の田中 勉氏から「社会教育の方向性について」というテーマで、社会教育の振

興方策や家庭教育支援、青少年健全育成の推進について、多くの事例を紹介しながら説明があった。

2日目は、5つの分科会に分かれて研究協議が行われた。第2分科会では、「家庭・学校・地域との連携」というテーマのもと実践発表と研究協議が行われた。

この分科会では、魚津市大町公民館の大野館長が「小学校統合後の学校・家庭・地域との連携」と題して実践発表を行った。4つの小学校が1つに統合された子供たちのために、「地区の素敵を見つけよう」と題してビデオで各地区の魅力を伝えたり、「学校に泊まろう」と題して肝試しや花火の後ダンボールベッドで泊まりする活動等が紹介された。どの活動も子供たちに地域(ふるさと)を愛することを育む素敵な活動であった。



実践発表する大野館長

閉会行事では、福井大会江岸大会長から富山県公連中西会長に大会旗が引き継がれた。東海北陸公民館大会富山大会は、令和4年9月8日(木)・9日(金)に開催します。

「これからの公民館の役割や地域社会との多様な連携のあり方を考える」 富山県公民館館長研修会開催

11月5日(金)、県公民館館長研修会は、新型コロナウイルス感染予防対策のため参加者数を例年の65%に絞り、133名が参加して高岡文化ホールで開催された。開会にあたり、来賓の県教委生涯学習・文化財室家庭成人教育班の麦谷班長から「県では、昨年引き続き『はつらつ公民館学び支援事業』として、公民館を拠点に地域課題の解決に向けた『学び』のモデル的な活動を行う『地域振興型』と子供たちのふるさとの学びや身近な自然体験活動を推進する『体験交流型』に取り組んでいただいております。今後、地域での子供の健全育成をはじめ、公民館が社会の変化に即した活力ある地域づくり・人づくりの拠点となり、地域の絆づくりが一層推進されることを期待しております。」との挨拶をいただいた。



激励の挨拶をする
麦谷家庭成人教育班長

研修1では、南砺市教育委員会教育長の松本謙一氏が『「一流の田舎」をめざす南砺市～小規模多機能自治と教育改革～』と題して講演した。

講演では、小規模多機能自治の体制の整備やチーム担任制、部活動改革などの教育改革の実践を紹介していただいた。各種取組からは、小規模のメリットを生かし、「顔が見える」つながりを大切に、課題はアイデアで乗り切り、成果を上げておられる様子がよく伝わってきた。



講演する松本氏

そして、公民館館長の皆様に、「どんな地域にしたいのか」「どんな人を育てたいのか」「どんな公民館にしたいのか」を考えることの大切さにきづかせていただいた。

※富山県公民館連合会のホームページで、講演の動画を配信していますのでご覧ください。

研修2 令和2年度公民館活動研究委嘱公民館の実践発表

新型コロナウイルス感染対策と地域の集い『公民館祭り』

入善町横山公民館 館長 野口 光博氏

1. 主題について

コロナ禍の中で、参加者の皆さんが安心して楽しみながら参加できる『公民館祭り』を目指し、これまでの催し物の見直しを行った。

2. 実践事例

開催について実行委員会で討議を行い、今年は「飲食を伴う（試食会）、過密になる（三世代交流会）、大声を出す行事(ステージ発表)は行わない」という基本ルールを決め、小学生・サークル・個人の作品展示を中心にして、二日目に寄せ植え教室も行った。

具体的な感染防止対策としては、人の流れをよくするため衝立で動線をつくり、一方通行になるように作品を展示した。来場者には体温測定・マスク着用（マスクの無料配布）・名簿の記入を徹底した。

3. 成果と課題

参加者が協力的で大変円滑に運営でき、地域住民のふれあいの場を提供できてよかった。今後は、芸能サークルの発表を含め、多くの方に安心して参加していただける『公民館祭り』を推進していきたい。



発表する野口館長

過疎化・少子高齢化の中の地域づくりと公民館活動～学校と地域の連携を生かして

氷見市速川公民館 館長 河上 昌俊氏

1. 主題について

学校と連携し、児童と地域の人々や保護者・祖父母が交流を図り、米づくりの大変さや先人の苦労を体験し実りや収穫の喜びを味わう。

2. 実践事例

授業の一環として活動している米づくり体験に、5年生の児童15名と地域の方々や祖父母、先生方が参加して行った。米づくりは田植えから稲刈りまで、昔ながらの農機具を使って作業を行い先人の苦労を体験した。収穫した新大正餅米は学校で切り餅を作り、もち米と別々に児童がデザインした袋に詰めて速川青空市（朝市）で販売体験を行い、あっという間に完売した。

3. 成果と課題

児童が地域の行事に参加することは、地域住民の楽しみや生きがいに繋がり、児童たちは先人や地域の方々への感謝の気持ちをもてた。今後、児童数の減少や世話役の高齢化、3地区小学校の統合により開催不可能な行事が増えるなど、公民館の役割を見直す必要がある。



発表する河上館長

※富山県公民館連合会のホームページで、実践発表の動画を配信していますのでご覧ください。

おめでとうございます！ 各種受賞者・公民館を紹介します

- ◇令和3年度「社会教育功労者表彰」(文部科学大臣表彰)・藤木一仁氏（富山県公民館連合会理事）
- ◇令和3年度「富山県功労表彰」・山口吉弘氏（前富山県公民館連合会副会長）
- ◇令和2年度「富山県教育功労者等表彰」・優良社会教育機関：富山市立速星公民館
- ・社会教育功労者：菅田宣雄氏（朝日町公民館連絡協議会会長）

地域の絆を新型コロナから守る

氷見市阿尾公民館

阿尾地域は、氷見市の北部中央に位置し、阿尾城跡や森寺城跡があり、中世の交通の要衝でした。世帯数530世帯、人口1,409人（令和3年）と少子高齢化の進んだ地区です。

阿尾公民館で行っている「よくばりウォーキング」は、平成19年から14年間実施しており、毎年約50名が参加する定番の行事です。当初は、ドライバーへの安全運転の呼び掛けに重点を置いた「交通安全わくわくウォークラリー」という名称でしたが、参加者の要望や協賛者（交通安全協会・社会福祉協議会・市健康課・市教育委員会）の意向に合わせ、「わくわくウォークラリー」、「交通安



大伴家持の歌碑の説明を聞く参加者

全ウォーキング」と名称を変更してきました。平成24年からは、現在の名称に定着しています。

また、「ウォーキング」の前に「よくばり」と付いているのは、①氷見の魅力を発見してほしい、②健康な体をつくってほしい、③世代を超えた心の触れ合いをしてほしい、という3つの願いからです。

行き先は、阿尾城跡やひみ番屋街、大境洞窟、布勢円山、ひみラボ水族館、大伴家持歌碑等、氷見の代表的な史跡や施設です。

平成23年からは、食改の方に協力してもらい、カレーライスで楽しく会食しています。この会食が参加者の親睦を深める場となっています。

しかし、令和2・3年は、新型コロナウイルスの感染予防から、会食を止め、氷見牛レトルトカレーを配布しました。また、氷見の海探検館や朝日山公園－見晴らしの丘－等、歩いて行ける範囲に絞ったり家族単位で行動したりするなどの工夫をしました。今後も、工夫を重ね地域の絆を大事にしていきたいと思えます。

わが町の公民館活動

富山市立藤ノ木公民館

公民館活動再開を願って

富山市の東端、常願寺川左岸の流れに沿う藤ノ木校下はその昔、度重なる水害を被りながらも農村地帯として発展してきました。近年は宅地造成が進み商業施設も充実、現在は世帯数6,700余、人口16,200人を超える大規模校下となりました。

藤ノ木公民館では、各種サークル・教室が盛んに行われています。ふるさとづくり推進協議会では今年、サマーフェスティバルや文化祭が新型コロナの影響で2年連続中止、三世代間交流健康ウォークやふれあいゴルフ大会は開催準備を進めていたもののやむなく中止となりました。

そのような状況ですが、みそ作りやかぶらずし作り教室は持ち帰り方式で実施、フラワーアレンジ教室などは少人数で行うなど、公民館ふるさと講座の開催には十分なコロナ対策を取りながら進めています。また、夏休みには児童向けの自宅でできる工作キットを用意したところ大好評でした。

そして今回、2021年度の県功労表彰団体に「藤ノ木校下給食サービスボランティア」の皆さんが選ばれました。

これは、平成4年以来29年間にわたり、ひとり暮らし高齢者世帯への弁当の宅配や訪問時の見守り活動など、きめ細やかなボランティア活動を積極的に行ってきたことが評価されたものです。

今は調理室が使用できないため、市販品を用意して配達、訪問活動を行っています。

このように藤ノ木公民館では、できることを考え工夫し活動を続けています。地域に根ざした活動の拠点としての公民館が、早く全面再開できる日が来ることを願います。



フラワーアレンジ教室

中山間地における公民館活動

上市町立白萩東部公民館

白萩東部公民館のある白萩東部地区は、伊折、蓬沢、折戸、中村、下田の各地区に分かれ、名峰「剣岳」のふもとに位置しています。

山間部のため、実際、地区に居住している人はわずかとなっていますが、自然環境に恵まれた美しい地区です。

標高750mの馬場島から早月尾根を通り、一直線に2,999mの剣岳山頂を目指す「剣岳・早月尾根登山道」は、剣岳登山の上級者向けコースとして全国的に知られています。



また、下田地区にはかつて加賀藩の財政を支えた「下田金山跡」があります。



昭和44年8月の洪水により現在無住の地となっている下田地区です



白萩東部公民館活動

が、奥行約130mの坑道跡や資料館が、地区出身者からなる「下田ふるさとの会」によって整備されています。

公民館の建物としては、長い間旧白萩東部小学校校舎を使用していましたが、平成27年8月に建物が解体となったため、現在は折戸公民館を拠点に地区出身者や関係団体の協力を得ながら公民館活動を行っています。

毎年の活動として「伊折地区の早月川散策コース整備」、「折戸地区の笠尻山散策コース整備」、「中村地区の立山大杉保全活動」、「下田地区の下田金山散策道路整備」などを実施しているほか、旧小学校跡地を利用した花壇・桜木整備など訪れる方に喜んでいただけるような環境づくりを行っています。

また、上市町の小学5年生が「ふるさと学習」として「下田金山跡」を体験する際には、「下田ふるさとの会」と協力して金山の歴史や現地の案内等を行っています。

冬は雪に覆われる地区のため、年間の活動期間は他の公民館と比較して短くなりますが、この場所にしか存在しない自然や地区の歴史について、公民館活動を通して次世代へ継承していきたいと思っています。

わが町の公民館活動

砺波市立般若公民館

地域住民と共に成長する公民館活動

般若地区は、県西部砺波市を流れる庄川の右岸に位置するのどかな田園地帯です。緑豊かな丘陵地には、県砺波青少年自然の家、支援学校、ロイヤルホテル等があり、地区の中央をR359バイパスが通り抜けています。522世帯、約1,800人が住む少子高齢化の進んでいる地区でもあります。


公民館では、住民が参加しやすい異世代交流事業を中心に活動を展開しています。中世には代表的な荘園でもあったこの地には多くの史跡があり、自分の住む地域の古を知ることから始まった般若地域めぐりは、子供たちも含め毎回大勢の参加があります。11月の公民館まつりと同時に開催し、一行が地域めぐりから公民館に到着するのに合わせてボランティアの協力で餅つき大会を開始。皆さんに大変喜ばれていたのですが、コロナ禍の今年は菊花展と地域の皆さんの作品展示のみの開催になりました。また、子供たちに自然体験で楽しんでもらう事業としてホテル観賞会や野外キャンプ、バーベキュー、星空観察会などを実施。昨年は中止になった節分お楽しみ会は、自

分の恵方巻を手作り体験するのが好評で、毎回、大勢の参加があります。これらの色々な体験で培ったノウハウを生かし、成長してほしいと思っています。

地域の活性化には、若い世代のエネルギーが必要であり、そのエネルギーを引き出す場として公民館は益々重要になってくると思います。地域の特性を生かし、各年代の組織と協力し、豊かで魅力ある地域社会づくりを目指したいと思っています。



太田地区の万福寺境内にて



新館紹介

射水市本江コミュニティセンター

本江地区は、射水平野の海岸部にあり、富山湾に面しています。射水市の北西部に位置し富山市と隣り合っており、立山がきれいに見える田園広がる地域です。本江・足洗・針山・道番・中新・足洗新町の6自治会で構成され、696世帯、1,859名が居住しています（R3.8.31現在）。平成23年に本江公民館から本江コミュニティセンターに変わり、本江地域振興会で運営しております。

現在の本江コミュニティセンターは、令和2年6月に新しく竣工されました。屋内は、軽スポーツができる多目的ホール、会議・映写会等ができるスクリーンと音響設備のある研修室1、ダンス等動きの確認ができる鏡のある研修室2、楽器・カラオケ等ができる防音のある研修室3、調理実習室とつながる研修室4、お茶等ができる和室、放課後学童に使われる児童学習室など特色ある部屋が並び、他にも多目的トイレや談話コーナーもあるなど使いやすく、平屋建ての構造になっています。屋上は、避難場所として指定されています。また、屋外は、70台以上の駐車能力があり、旧本江小学校跡・記念樹・石碑も存続し地域を見守っています。隣には、本江グラウンドがあります。

大きな行事は、敬老会・運動会・ふるさとまつりがあります。サークルは、大正琴・書道・歌等の文化的な活動やフラダンス・ビーチバレー・バドミントン等体育的な活動など多種にわたった活動が行われています。生涯学習事業では、生涯学習・高齢者学級・女性学級・青少年学級を柱にしており、特に高齢化が進む地域でもあることから、高齢者サロンや本江シアターの開催等、地域の支え合いの活動に力を入れています。

この竣工を機に地域を盛り上げ、多くの住民の皆様にご利用してもらうことが今後の大きな課題です。地域の文化活動・福祉活動の拠点として、たくさんの老若男女に有効活用されるよう努めたいと思います。

また、富山県の「まちの未来創造モデル事業」に選出された「足洗老人福祉センター跡地に温泉施設事業」により、足洗新町の温泉施設（令和4年3月オープン予定）・足洗潟公園の整備が行われる予定です。本江コミュニティセンターの竣工と合わせ、本江地域内外の人が集い賑わいを生み出せたらと期待しております。



新館全景



多目的ホールにて高齢者サロンの3B体操



調理実習室にて親子パン作り

